

VR360

ご紹介資料

ハートコア株式会社

会社概要

■ 商号	: ハートコア株式会社（英語名：Heartcore, Inc.）	
■ 事業内容	: デジタルマーケティングテクノロジーを利用したCMS（コンテンツ管理）、CXM（顧客経験管理）の 開発及びグローバル販売・保守	
	: RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）の開発販売	
	: プロセスマイニング・ソリューション、「myInvenio」、「CONTROLIO」の販売	
	: 3D-VR撮影(Matterport)+ オリジナルサービス「VR360」の開発・販売・保守	
■ 設立	: 2009年6月	
■ 代表者名	: 神野 純孝	
■ 資本金	: 194,064,000円	
■ 従業員数	: 44名	
■ 所在地（本社）	: 東京都品川区東五反田1-2-33 白雉子ビル3F	
■ 所在地（支社）	: 沖縄県那覇市銘苅2-4-35 アーバンプラネットビル4F	
【沿革】	2009年06月	株式会社ジゾン設立
	2009年06月	HeartCore CMS V7を販売開始
	2015年06月	HeartCore CXM / AIを発売
	2018年02月	HeartCore Robo（RPAツール）を販売開始
	2018年05月	CICERO（RPA分析ツール）の販売を開始
	2018年06月	ハートコア株式会社に社名変更
	2018年11月	HeartCore CMS V11 をリリース
	2018年07月	電通デジタルファンドと、電通国際情報サービスから投資を受け増資
	2019年01月	myInvenio（プロセスマイニングツール）を販売開始
	2020年03月	タスクマイニング製品「Controlio」販売開始
	2020年05月	VR360販売開始
	2020年06月	鈴与シンワートから出資を受ける
	2021年06月	Apromore（プロセスマイニングツール）を販売開始
	2022年02月	HeartCore Enterprise Inc, Nasdaqへ新規上場



2本柱の事業展開

HeartCore社は主力製品のHeartCore CMSを進化させ、
デジタルマーケティングの領域でも存在感を発揮しています。

また、企業を取り巻く環境変化を敏感に察知し、昨今世間で注目を集めているRPA・業務可視化・
プロセスマイニング事業にも進出し、最新のテクノロジーを取り込んだ製品開発で、今後もお客様が
利益を生み出す事のできるソフトウェアを開発し続け、お客様の幸せを追求してまいります。

CX本部

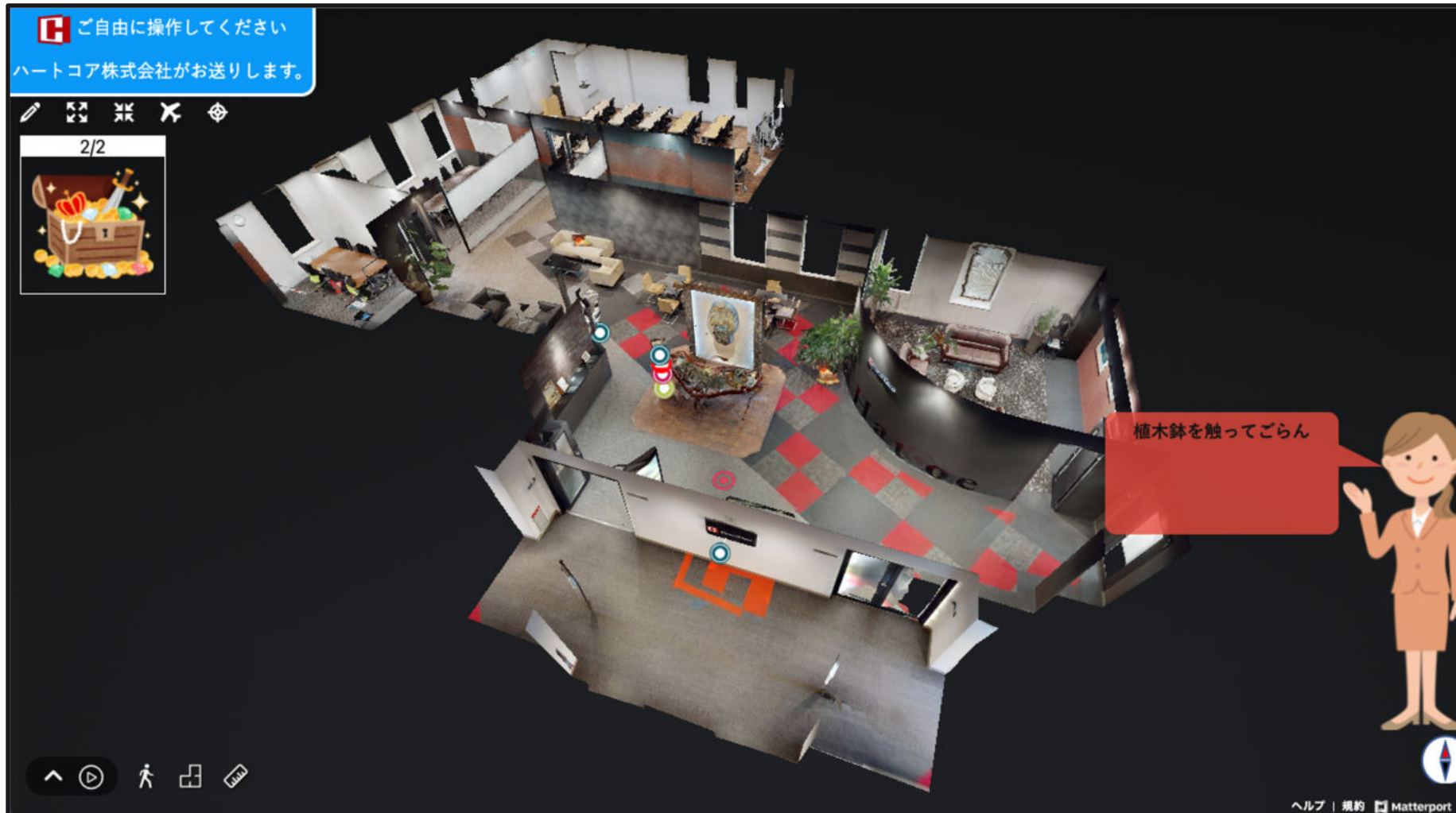


DX本部



「VR360」とは

Matterportの技術を用いて、撮影した空間をWebコンテンツ化し、
従来のVRとは異なる、新しい顧客体験価値を高めるサービスです。



顧客満足度
90%以上

※マクロミル社による
物件検討者1,030人への
実態調査結果

3つのメリット

高画質



空間を
3D・4Kで表現

サービスを導入することで、
空間を簡単にデジタル化し
高品質で表現することができます。

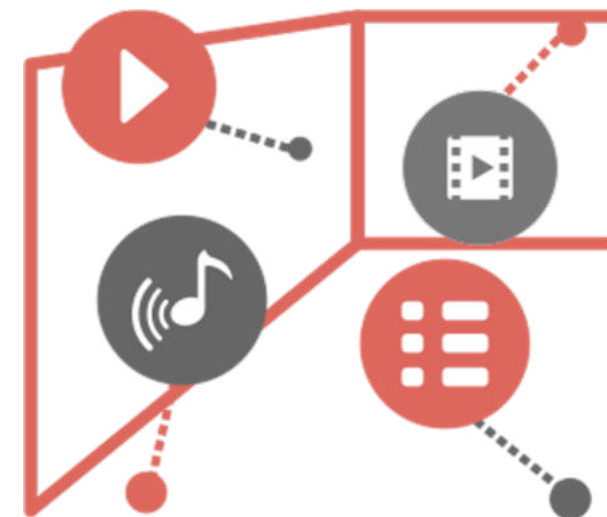
シンプル



スマホやPCで
簡単に表示

3Dの空間を確認する上で
特殊なアプリは不要です。
誰でも簡単にいつでも、3Dの空間を
閲覧可能です。

シェア



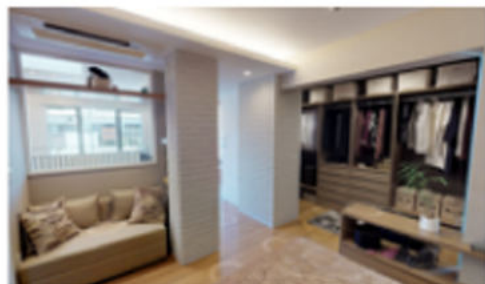
データ内にリンクを
設置可能

3D空間に予約リンクや
施設の案内
動画、画像などを
設置することが可能です。

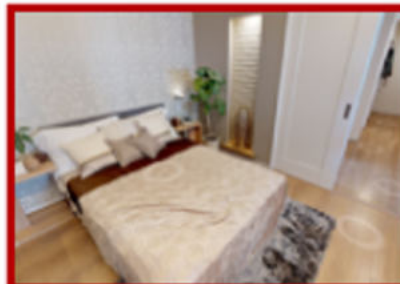
「VR360」のサービス

3Dデータの**撮影**～**制作**・**管理**までをサポートします

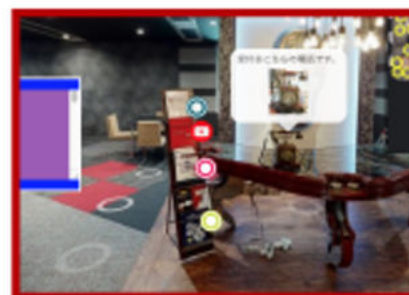
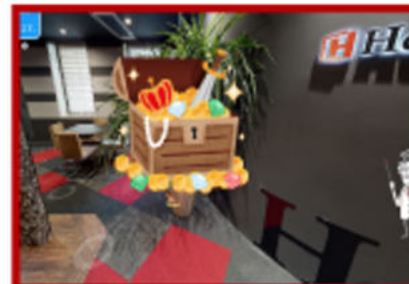
特殊なカメラで撮影



データは
クラウドにUP



VR360の作業



URLで納品

PC、
スマホ
VR体験



自社HP
掲載



業務効率
の向上



導入メリット



お持ちの施設を、
デジタルコンテンツとして活用
フルCGのVR空間より
短期間・低価格です

**すぐに使える
コストダウン**



写真、動画で伝えられない
空間案内が可能
5G時代にオススメです

**新しい空間PR
他社との差別化**



3DデジタルでWeb上で
内容の確認や満足がUP
写真や文字で見るより、
一目瞭然です

**満足度の向上
決断のスピード向上**

Matterportについて

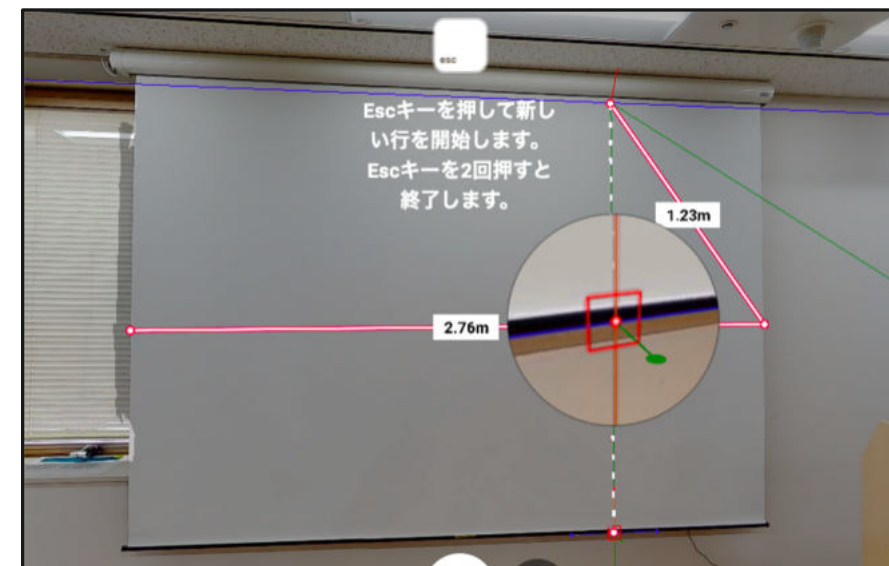
データ内に**動画、画像、テキスト**を掲載することが可能



アプリ不要、デバイス関係なく閲覧可能



空間の**大きさ**を任意に図ることが可能



HPやECサイトへの誘導が可能



「VR360」 とは

Matterportの空間に、VR360独自の機能を重ねることによってより良い空間を作ります。



他のサービス提供会社との違い

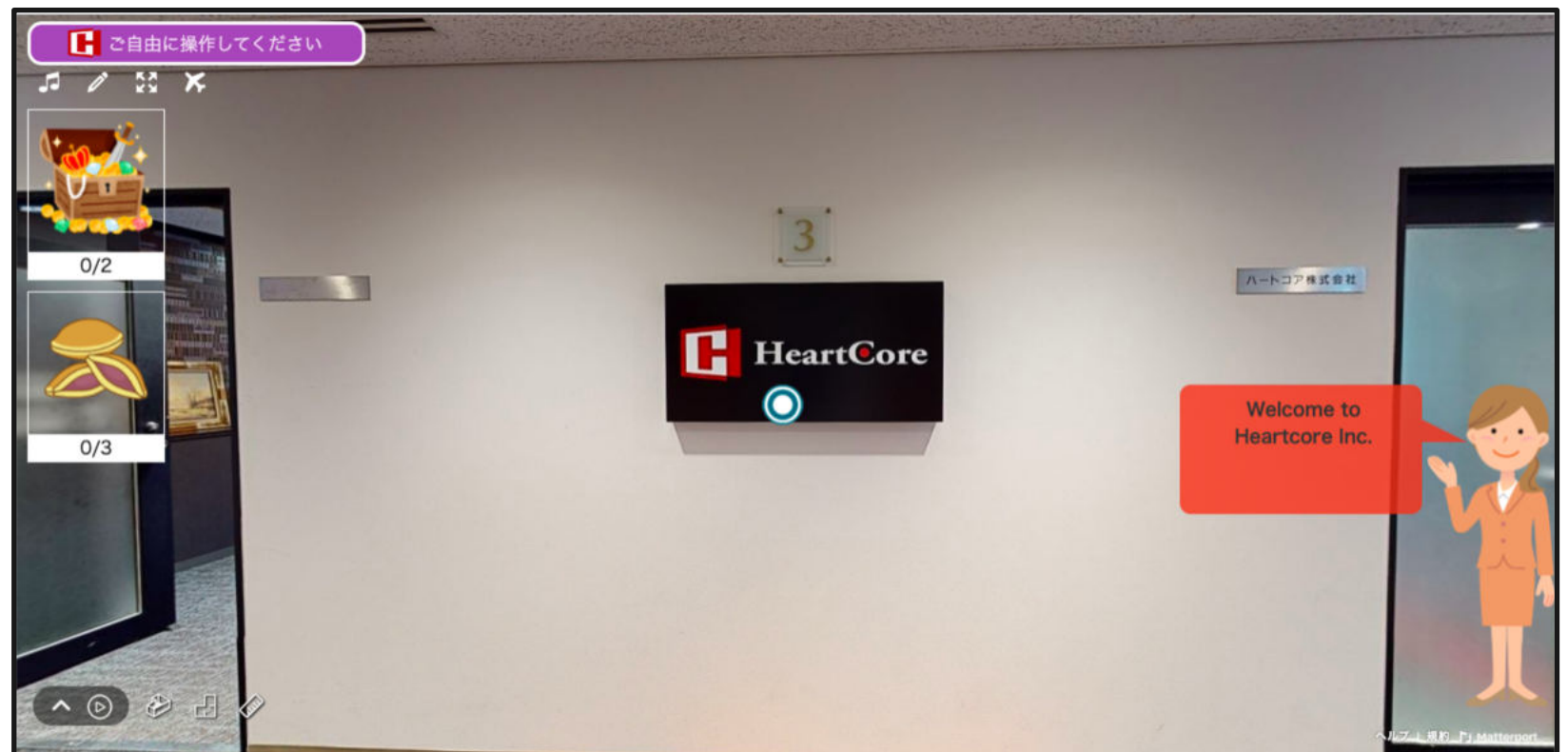
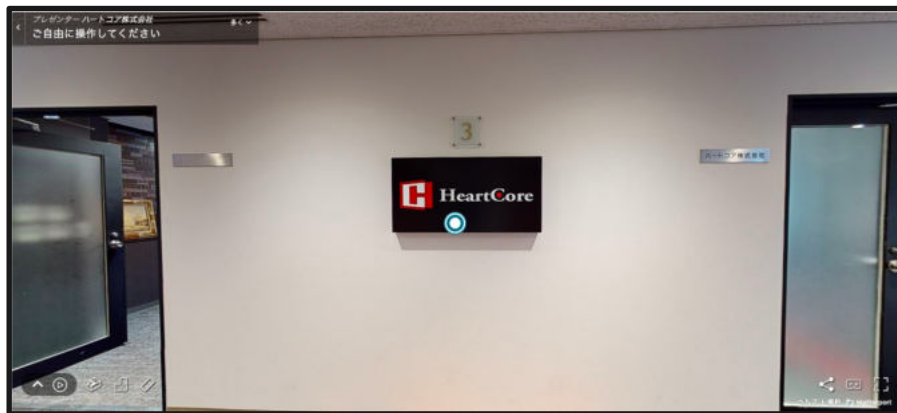
VR空間 + α

撮影したままの無機質な空間では一度見ただけでは飽きられてしまいます。

VR360では、撮影後のVR空間にたくさんの仕掛けを施すことで**VR空間での接客**を可能にします。

【VR360のサービス】

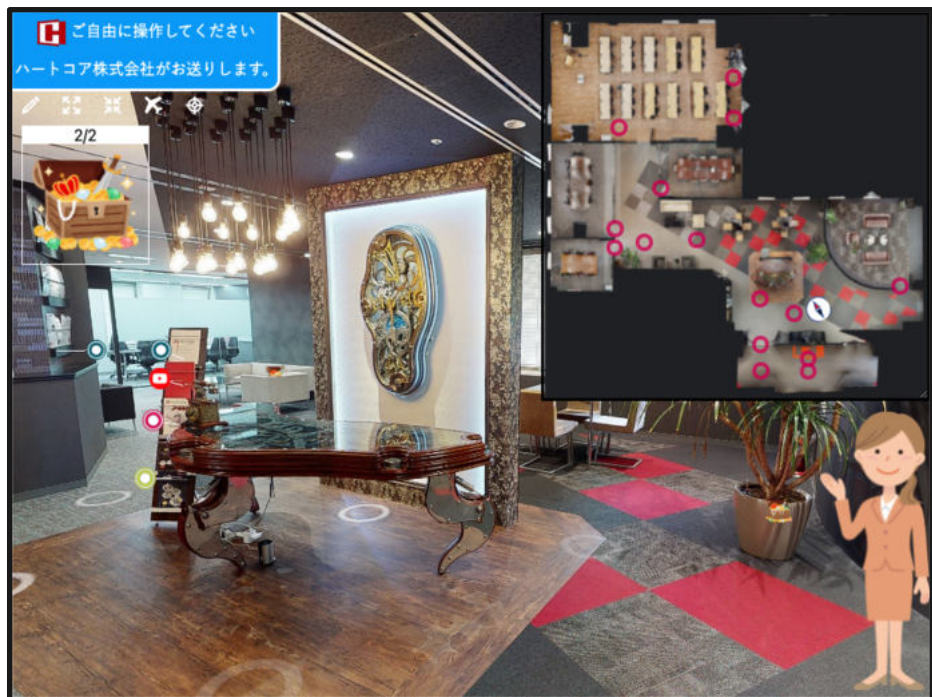
【Matterportオリジナルサービス】



※仕様は予告なく変更となる場合がございます

VR360でできること

代表的な機能の紹介①



ミニマップ機能

自分が今どこにいるのか、どこを向いているのかを確認しながら空間の中を回遊することができます。

初見の施設や、広大な敷地を撮影した際にも迷子にならず、ユーザーにとって回遊しやすい空間にすることができます。

Mattertagのデザイン変更

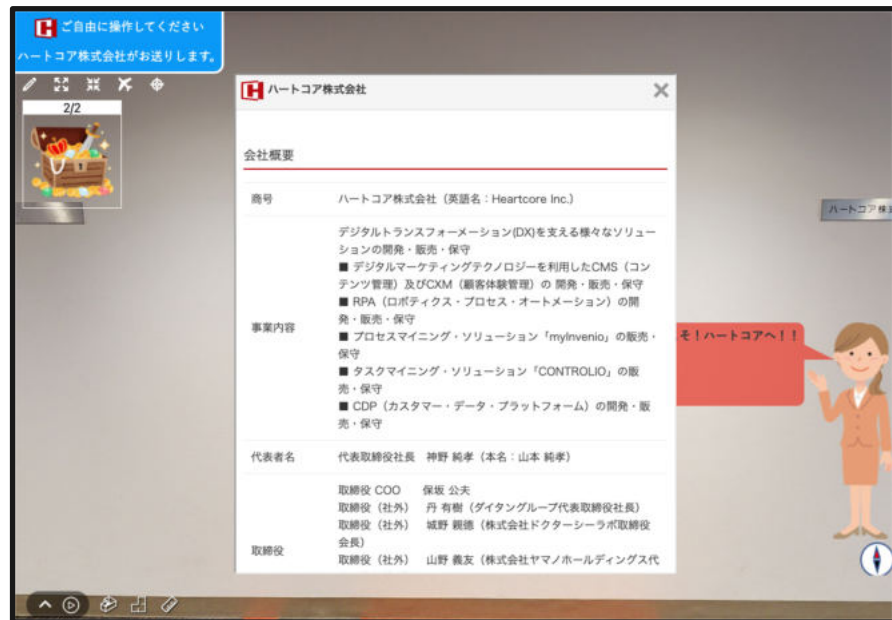
通常のMattertagの見た目は二重丸◎のようなデザインですが、任意の画像に変更することが可能です。

Mattertag内に、どのような情報は入っているのかひと目でわかり、クリック率アップにも繋がります。



VR360でできること

代表的な機能の紹介②



Mattertag表示のカスタマイズ

Mattertagのクリック時、通常の黒い吹き出しではなく独自の処理で、さまざまな物を表示することができます。

例えば、Webサイトを直接ポップアップで表示させたり、動画や画像をより大きく見やすく調整することもできます。

宝探し機能

空間内の任意の場所に宝を設置して、ユーザーの能動的な回遊を促します。

宝を全て見つけたら、クーポン発行・特設ページに誘導などの特典を提供することが可能です。



VR360でできること

代表的な機能の紹介③



Mattertag表示のカスタマイズ

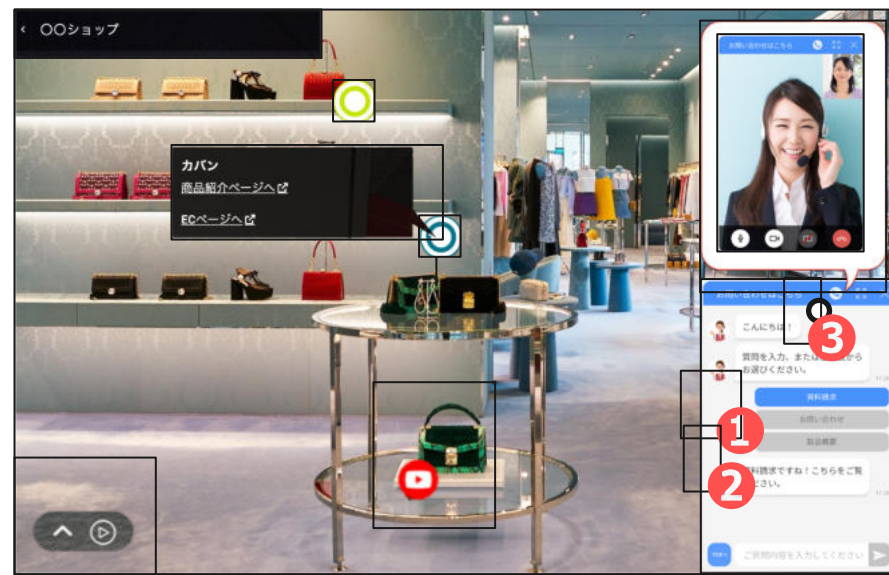
壁・モニター・スクリーンなどに画像等を埋め込み、まるで初めから空間内に掲示・投影しているかのように見せることができます。

順路案内や、スライドショーのように見せることもできるのでVRならではの表現が可能です。

チャットボット・リモート接客機能

空間内の展示品や、スタッフに詳細説明を聞きたくなった際、VR空間であってもその場でリアルに近い接客を実現できます。

AIチャットボット・有人チャットボット・ビデオ通話と3つのコミュニケーションスタイルから選択可能です。



LP作成プランのご紹介（option）

HeartCoreが、VR360作成後の
Webサイト掲載用ページ作成まで
サポートします！

お客様にご準備いただきたいこと

- ・ロゴ
- ・サイトの希望（参考）イメージ
- ・導入部のタイトルと説明テキスト（サイトの説明など）
- ・最終部のタイトルと説明テキスト（注意事項など）
- ・リンクしたい先の情報
- ・連絡先として記載したい内容（フッター部分）
- ・メインビジュアル等で使用したい画像やイメージとその素材

お願い

VR360プランでは、基本ワイヤーフレームに沿ったコンテンツ作成を前提としております。
基本ワイヤーフレームを超えるコンテンツの掲載や特別な動きを入れる場合は、
別途お見積もりとさせていただきます。



〈参考事例〉
品川区区民避難所体験サイト

操作方法



移動するには、スペース全体にある
リングをクリックします。

矢印キーを使用して前後に向きを変えます。

撮影についての注意点

- ・ 自社管理部分以外の撮影がある場合は、予め許可取得をお願いします。
- ・ カメラが360°自動回転して撮影するため、映ってはいけないものは予め室外や収納内部に移動させてください。
- ・ 撮影対象は原則、室内のみとなります。（外での撮影を希望される場合は別途お見積もりとなります。）
- ・ 複数の静止画撮影データを組み合わせて使用するため、人などの動くものは撮影時に在室できません。
- ・ 権利関係に懸念があるものの映り込みにご注意ください。（他社製品・キャラクター・個人情報など）
- ・ 原則として、撮影開始時の現状通りの撮影とさせていただきます。予め整理整頓をお願い致します。
- ・ 物件のレイアウトによっては、鏡や窓などへのカメラの映り込みが避けられない場合があります。



資料をお送りいたします。
お問い合わせは、下記まで。

社名	ハートコア株式会社
部署名	CX営業部
電話番号	03-6409-6966
Mail	sales-VR@heartcore.co.jp
URL	https://www.heartcore.co.jp/

